

# 長野県森林づくり県民税活用事業

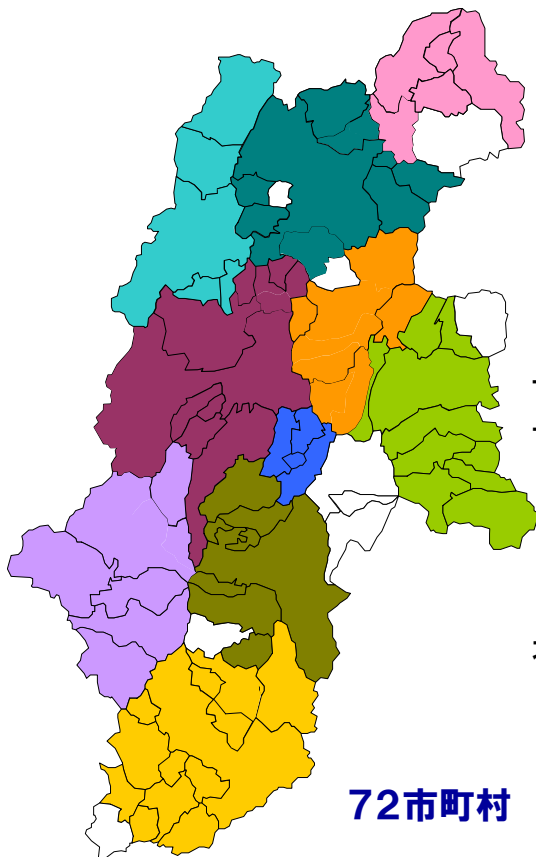
平成20年度の実施状況と  
平成21年度の取組計画等

長野県林務部

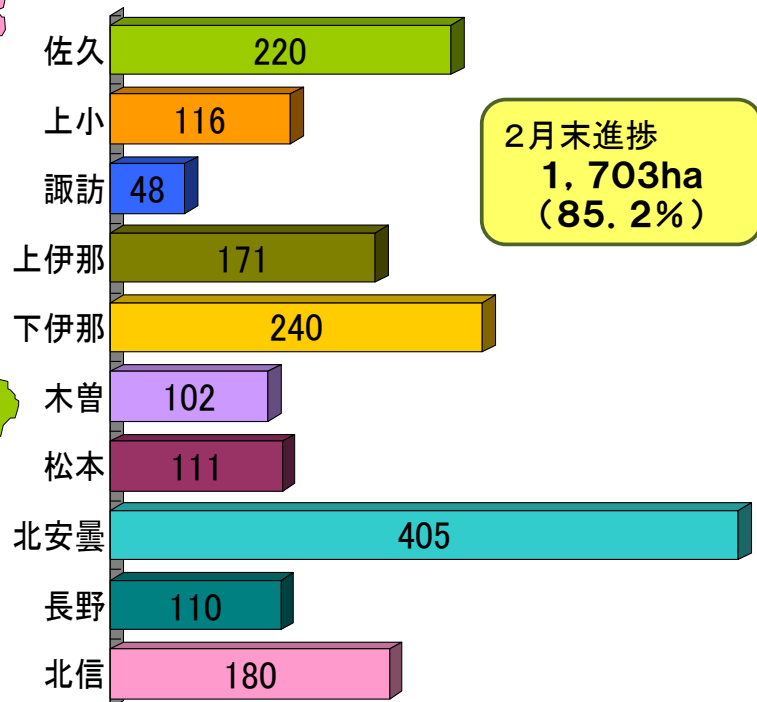
## 活用事業 1

手入れの遅れている里山での間伐の推進

# 活用事業1-1 みんなで支える里山整備事業



2月末現在 森林整備見込面積(ha)



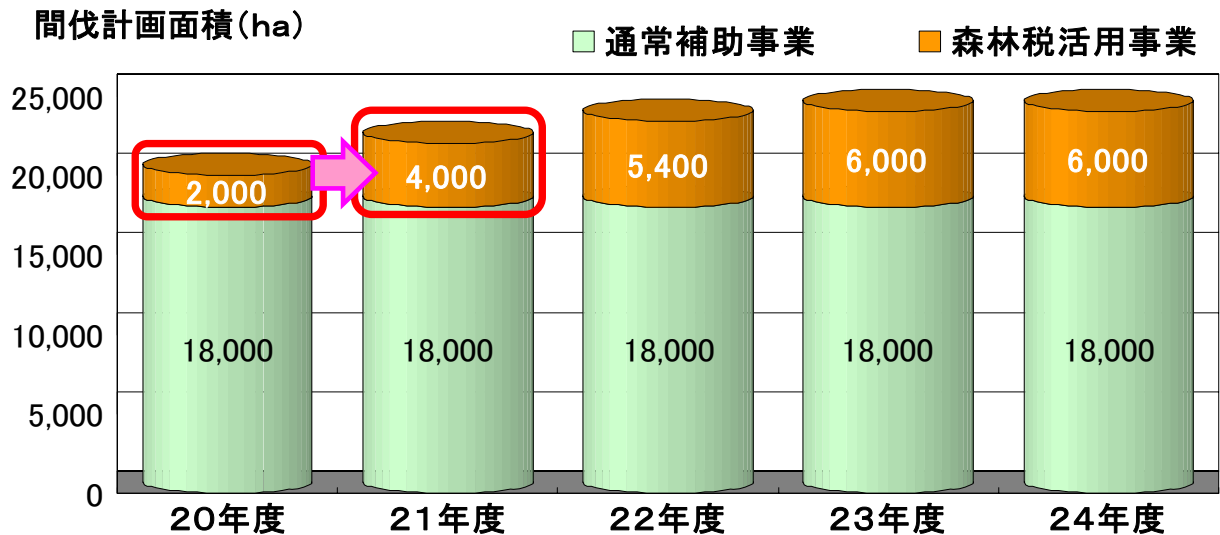
2月末進捗  
1,703ha  
(85.2%)

資料1(2ページ)

# 活用事業1-1 みんなで支える里山整備事業



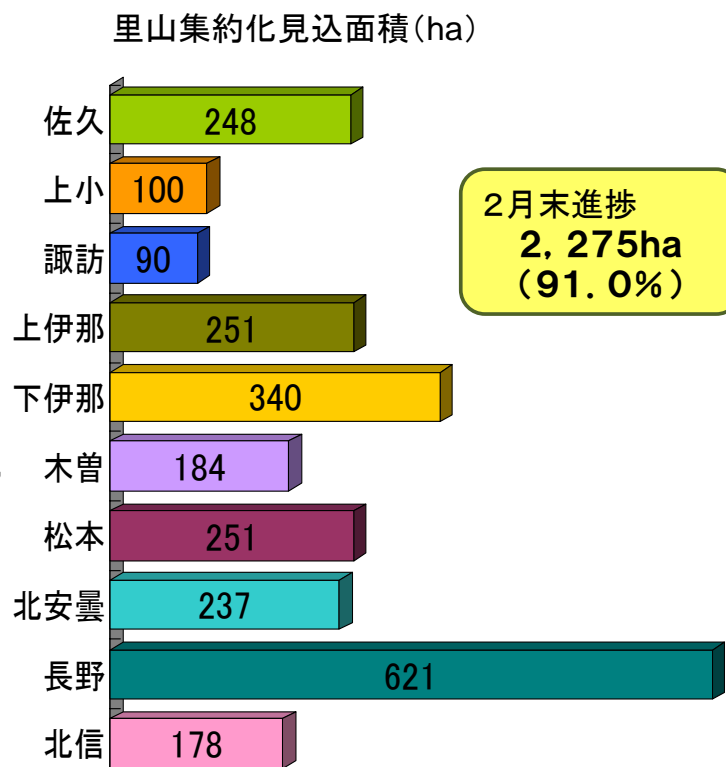
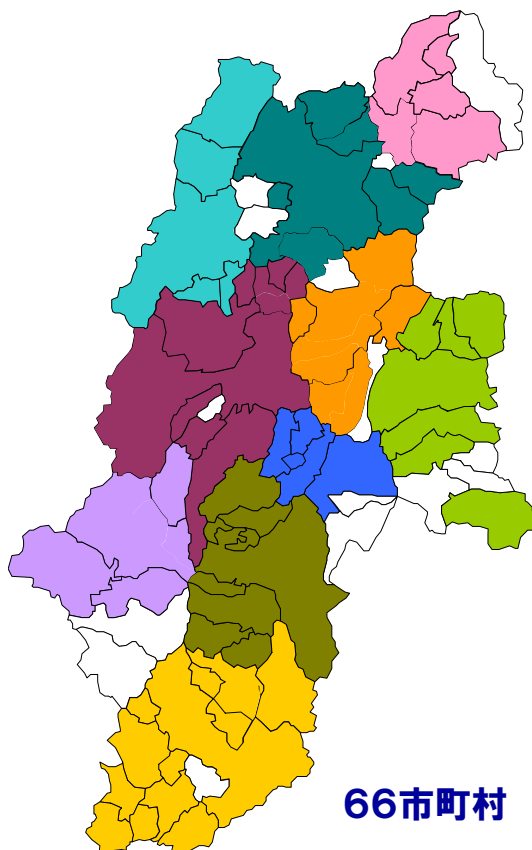
## 活用事業1-1 みんなで支える里山整備事業



区 分	20年度	21年度	前年度比
間伐面積	2,000ha	4,000ha	200%
予算額	404,325千円	808,650千円	200%

資料3(5ページ)

## 活用事業1-2 地域で進める里山集約化事業



資料1(3ページ)

## 活用事業1-2 地域で進める里山集約化事業



## 活用事業1-2 地域で進める里山集約化事業

### 【当初計画】

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	計
集約化面積	2,000 ha	2,000 ha	3,000 ha	3,000 ha	4,000 ha	14,000 ha
予 算 額	30,000 千円	30,000 千円	45,000 千円	45,000 千円	60,000 千円	210,000 千円

事業計画を前倒しして、集約化を先行実施

### 【変更計画】

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	計
集約化面積	2,500 ha	2,500 ha	3,000 ha	3,000 ha	3,000 ha	14,000 ha
予 算 額	37,500 千円	37,500 千円	45,000 千円	45,000 千円	45,000 千円	210,000 千円

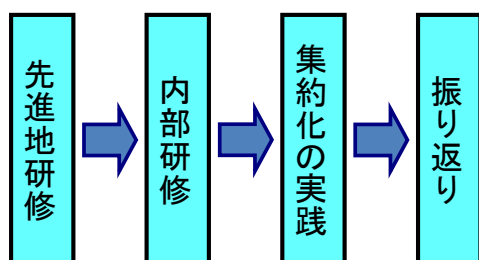
資料3(6ページ)

# 活用事業1-3 高度間伐技術者集団育成事業

## 1 施業プランナーの育成



〔先進地での実践研修の様子〕



H20活動状況	
●実施事業体	7事業体
●対象者	25名
●主なテーマ	森林所有者への提案方法の確立 情報の集積、管理体制の整備

資料1(4ページ)

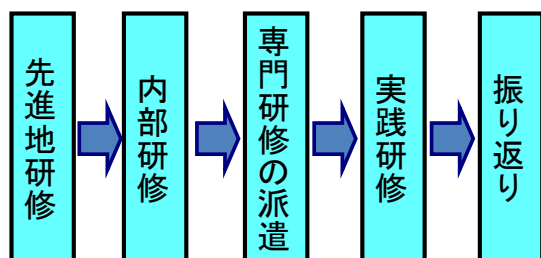
# 活用事業1-3 高度間伐技術者集団育成事業

## 2 実践的林業機械総合オペレーターの育成



〔先進地研修(八木木材)〕

〔実践研修〕



H20活動状況	
●実施事業体	11事業体
●対象者	12班
●目標	低コスト高効率作業システムの定着 目指せ10m <sup>3</sup> /人日

資料1(4ページ)

# 活用事業1-3 高度間伐技術者集団育成事業

## 3 普及啓発



ロングリーチハーベスタ現地検討会



GPSを用いた情報集積方法  
(山林の所有境の測量等)

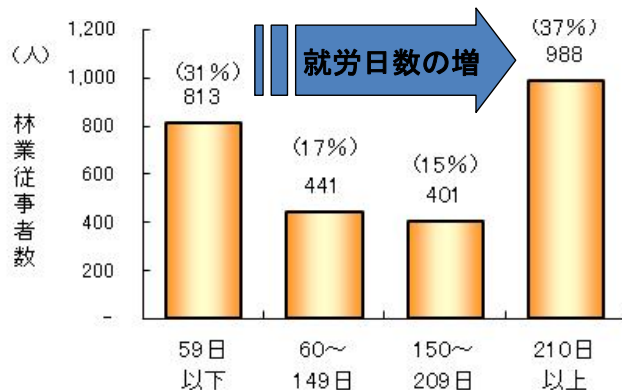
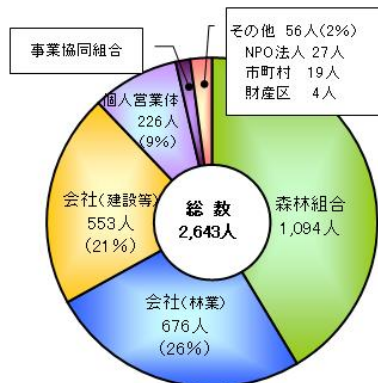
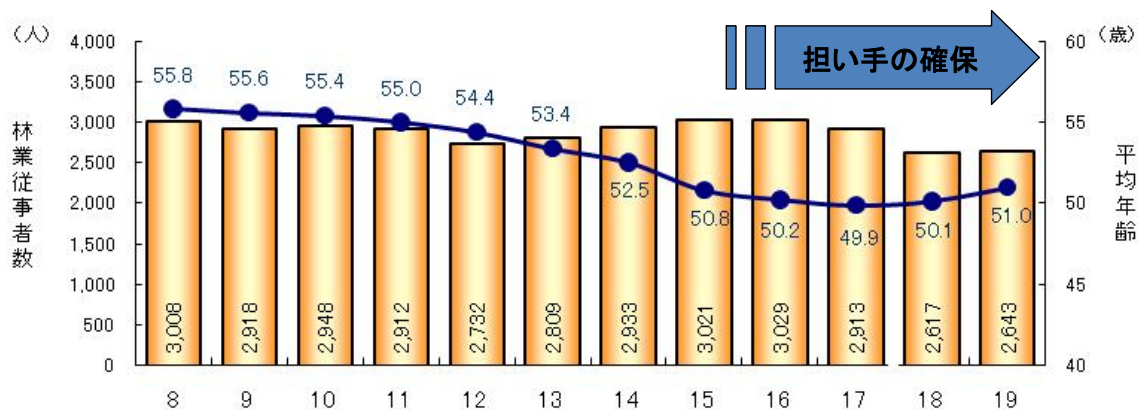
### H20活動状況

- 実施事業体 5事業体
- テーマ 高性能林業機械の操作技術の普及  
集約化方法の地域への普及

20年度予算額	5,528千円
21年度予算額	5,700千円 (前年度比103%)

資料1(4ページ)、資料3(7ページ)

## 課題への対応1 森林づくりの担い手の確保・育成



参考資料2(40ページ)

# 課題への対応1 森林づくりの担い手の確保・育成

## 他産業

経済状況の悪化に伴う本県の雇用状況

### ①非正規労働者の雇止め

7,252人(2月27日現在)全国第2位

### ②有効求人倍率の低下

0.61(1月現在)全国第27位(全国0.67)

## 林業

### ①森林整備量の増加

20年度 20,000ha

23年度～ 24,000ha (20%の増)

### ②林業就業者不足が危惧

近年の林業就業者人数は横ばい

目標人数 3,700人(27年度)

行政と関係団体が協働して、林業への新規参入を促進するための方策等を検討

## 緊急林業雇用対策会議を設置

(平成21年1月8日)

長野県、中部森林管理局、  
(財)長野県林業労働財団、  
長野県森林組合連合会、  
長野県木材協同組合連合会



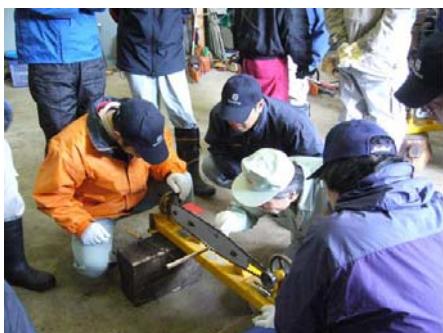
# 課題への対応1 森林づくりの担い手の確保・育成

## 雇用対策の活動

- 対策会議の開催(2回)
- 森林の仕事ガイダンスの実施  
(東京都、塩尻市、名古屋市)
- 林業就業説明会の実施  
(塩尻市、長野市、松本市)
- 林業事業者への求人の拡大要請  
(随時実施)
- 林業就業支援講習の実施

## 林業就業支援講習

- 受講者の募集・決定  
募集1/15～30 143人申込み  
定員を40人から50人へ拡大
- 研修の実施  
2/19～3/13 17日間
  - ・基礎知識及び機械の取扱い
  - ・現場における施業体験(OJT)46人受講 **42人修了**



○受講者の就業支援を実施。

○今後の支援講習は、雇用情勢や林業事業者の求人状況等を考慮して検討。

## 活用事業2

# 地域固有の課題に対応した森林づくりの推進



### 活用事業2-1 森林づくり推進支援金

#### 1. 森林整備の推進【市町村独自の嵩上げ補助の新設や拡充】



森林所有者の負担を軽減し、間伐の推進を図るため、市町村独自の補助を実施

間伐面積(県全体)



間伐面積が増加する一方、財政状況等から市町村の嵩上げ補助は「頭打ち状態」

19年度 嵩上げ実施

**70市町村**

(実施面積も限定的)

支援金により  
**45市町村**で  
補助を新設・拡充

20年度 嵩上げ実施

**79市町村**

(補助率や実施面積が拡充)

資料1(5ページ)



# 活用事業2-1 森林づくり推進支援金

## 1. 森林整備の推進【鳥獣被害対策(緩衝帯整備等)】

整備前



野生鳥獣対策  
15市町村  
で実施

野生鳥獣被害防止の  
ための緩衝帯整備の実施

整備後



資料1(5ページ)

# 活用事業2-1 森林づくり推進支援金

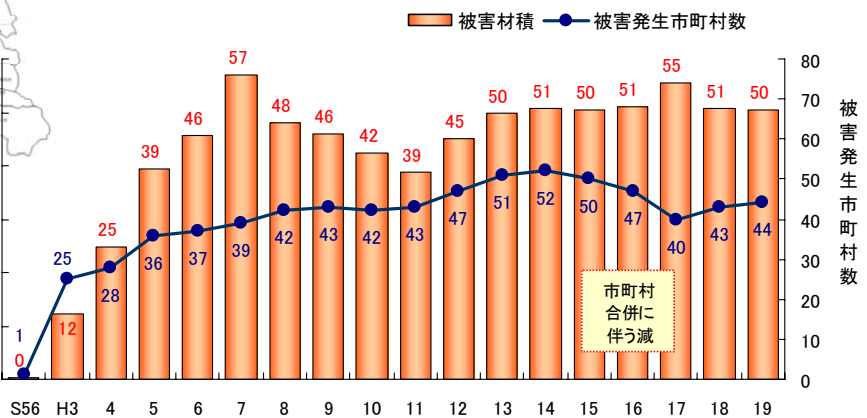
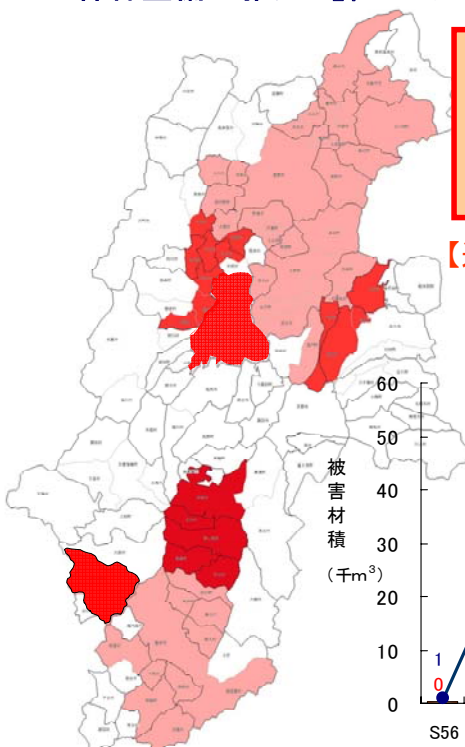
## 1. 森林整備の推進【松くい虫対策等】

## 【その他独自の取組】

松くい虫対策等  
17市町村  
で実施

独自の取組  
14市町村  
で実施

【通常事業で実施できない  
施業や場所で実施】



資料1(5ページ)

# 活用事業2-1 森林づくり推進支援金

## 2. 間伐材利用の促進に関する事業

公共施設等での木製品の利用展示、ペレットストーブの設置展示 など

20市町村(21事業)



## 3. 県民参加の促進に関する事業

森林体験活動、森林学習活動 など

15市町村(16事業)



## 4. 特認事業

森林税の普及啓発活動

9市町村(9事業)

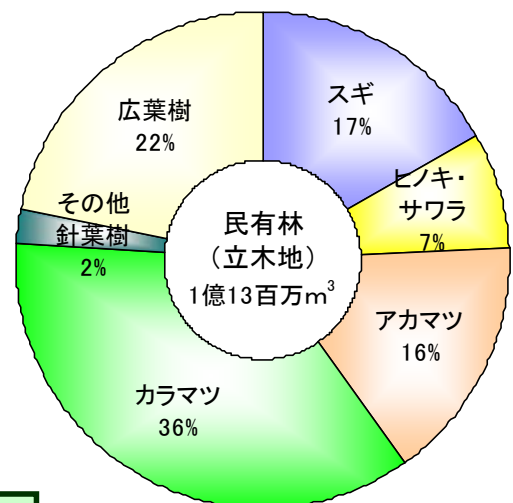
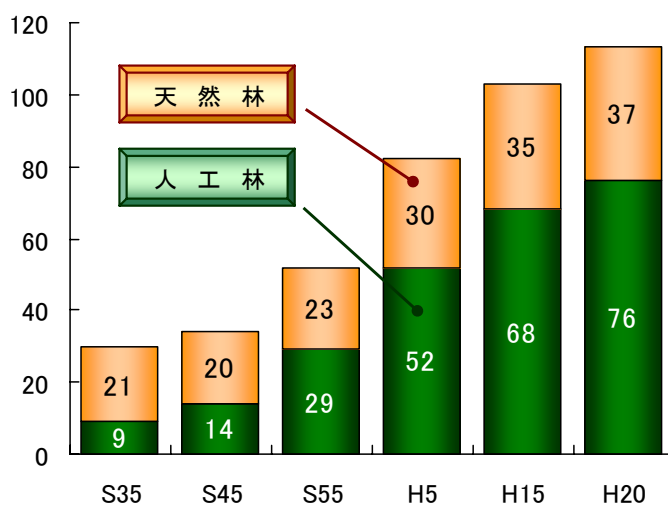
20年度予算額	100,000千円
21年度予算額	130,000千円 (前年度比130%)

資料1(5ページ)、資料3(8ページ)

# 課題への対応2 間伐材利用の促進

## 民有林の蓄積量の推移

(百万m<sup>3</sup>)



3,000万m<sup>3</sup>

50年間で  
377%

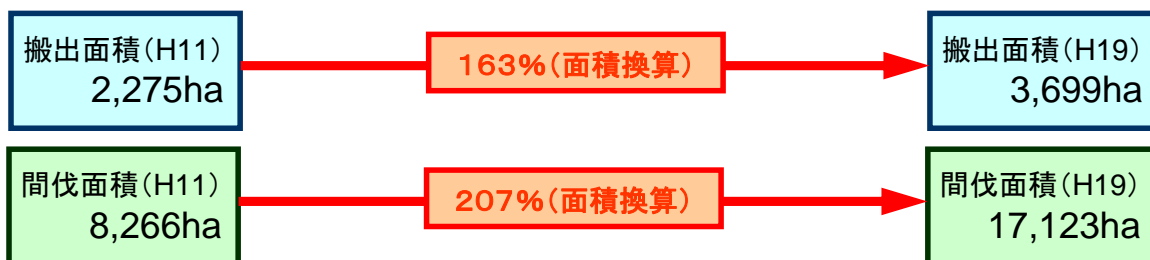
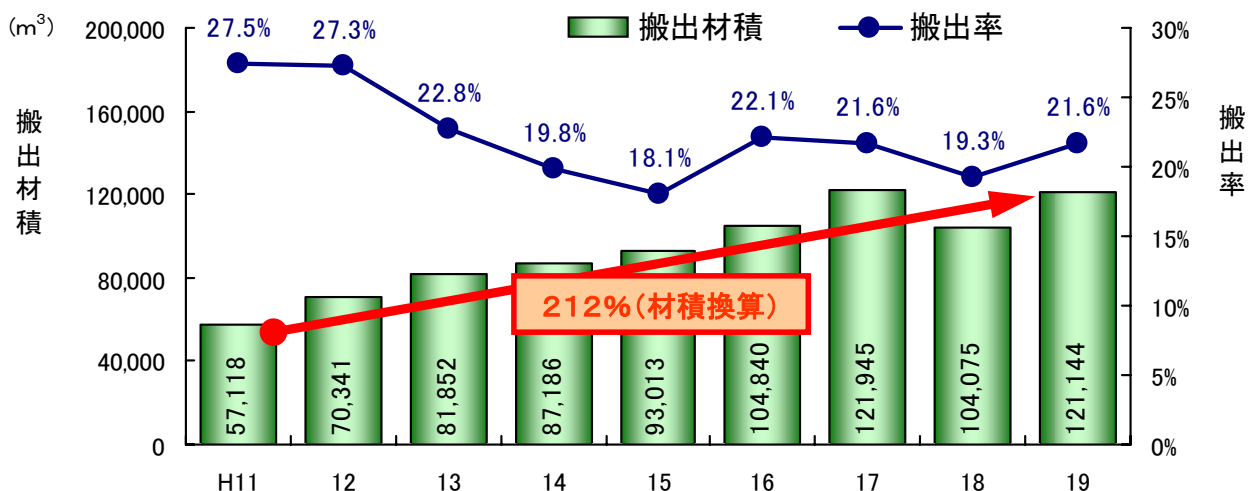
11,300万m<sup>3</sup>

森林資源として充実してきており、木材として積極的な利用が可能な時期へ

参考資料2(17, 18ページ)

## 課題への対応2 間伐材利用の促進

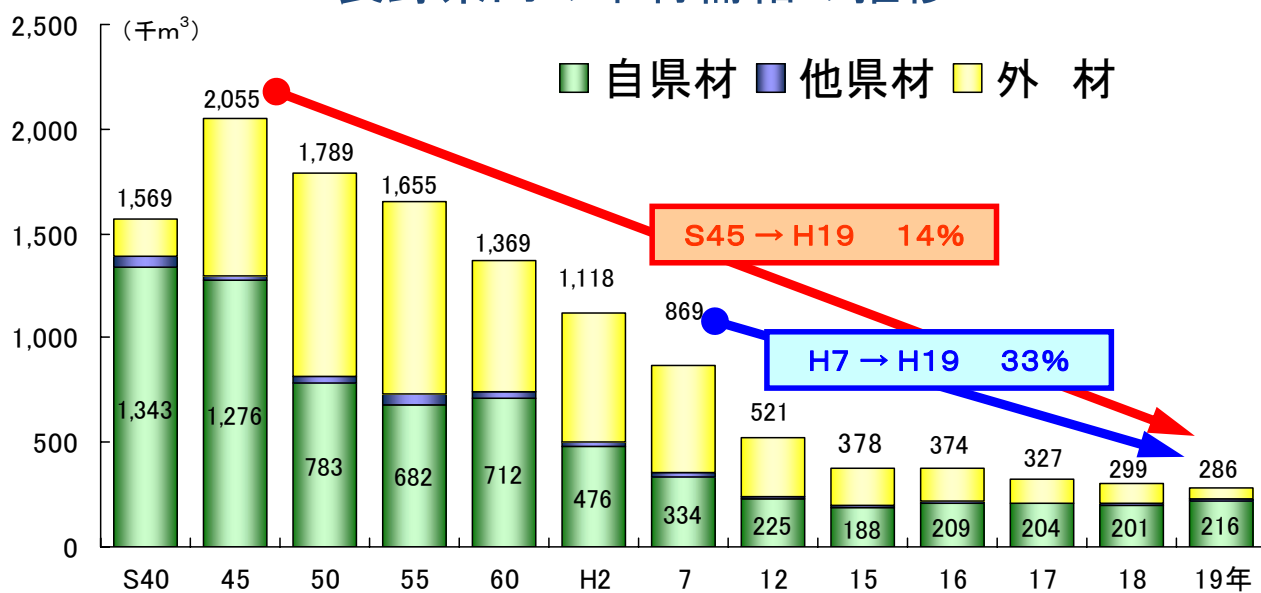
### 民有林における搬出間伐実績の推移



参考資料2(39, 72ページ)

## 課題への対応2 間伐材利用の促進

### 長野県内の木材需給の推移

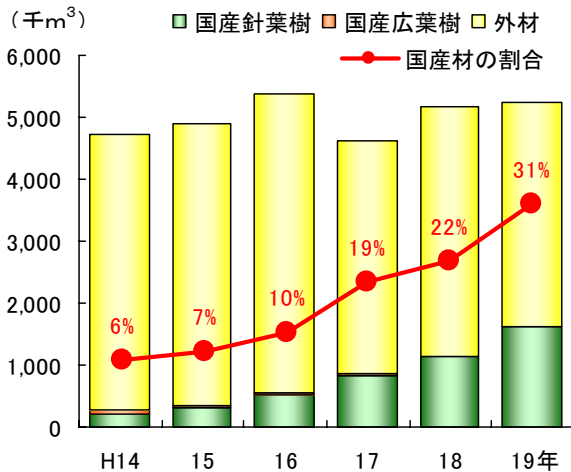


参考資料2(35ページ)

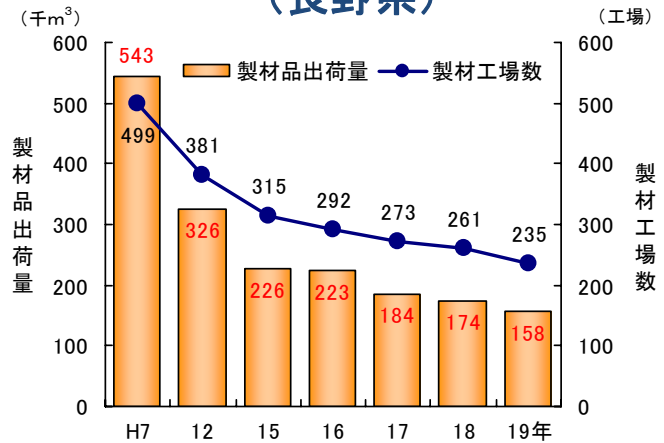
## 課題への対応2

## 間伐材利用の促進

### 合板用材の利用量(全国)



### 製材品出荷量と製材工場数(長野県)



#### ●ロシア産丸太等の輸入木材の減少

ロシアの丸太輸出関税の引き上げ

~H19.6 6.5%

H19.7~ 20%

H20.1~ 25%

H22.1~ 80% (予定)

#### ●県外合板工場への県産間伐材丸太の出荷増

H17 1,000m<sup>3</sup>

H18 11,000m<sup>3</sup>

H19 27,000m<sup>3</sup>

H20 40,000m<sup>3</sup>超(見込)

参考資料2(35, 38ページ)

## 課題への対応2

## 間伐材利用の促進

森林づくり県民税活用事業等による間伐面積の増加

ロシア産丸太等の輸入木材の減少

県外合板工場への  
県産間伐材丸太の出荷増

県内製材工場での  
地域材利用が進まない

間伐材の利用に関する地域の関係者が協力して  
間伐材を確実に利用し、健全な森林を育成していくための  
「新たな仕組みづくり」が必要

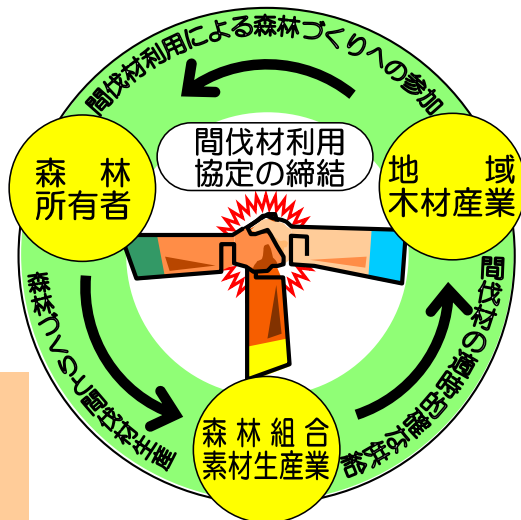
資料3(9ページ)

## 活用事業2-2

# 新 間伐材利用の環モデル事業

## 県内各地域に県産間伐材を利用するための『環』を再生

課題となっている間伐材の利用を促進するため、間伐材の生産から利用に関わる地域の関係者が協定を締結し、安定的かつ確実に間伐材を利用する仕組みづくりを支援



1協定 20ha以上 かつ 年間1,000m<sup>3</sup>以上  
協定期間 5年間

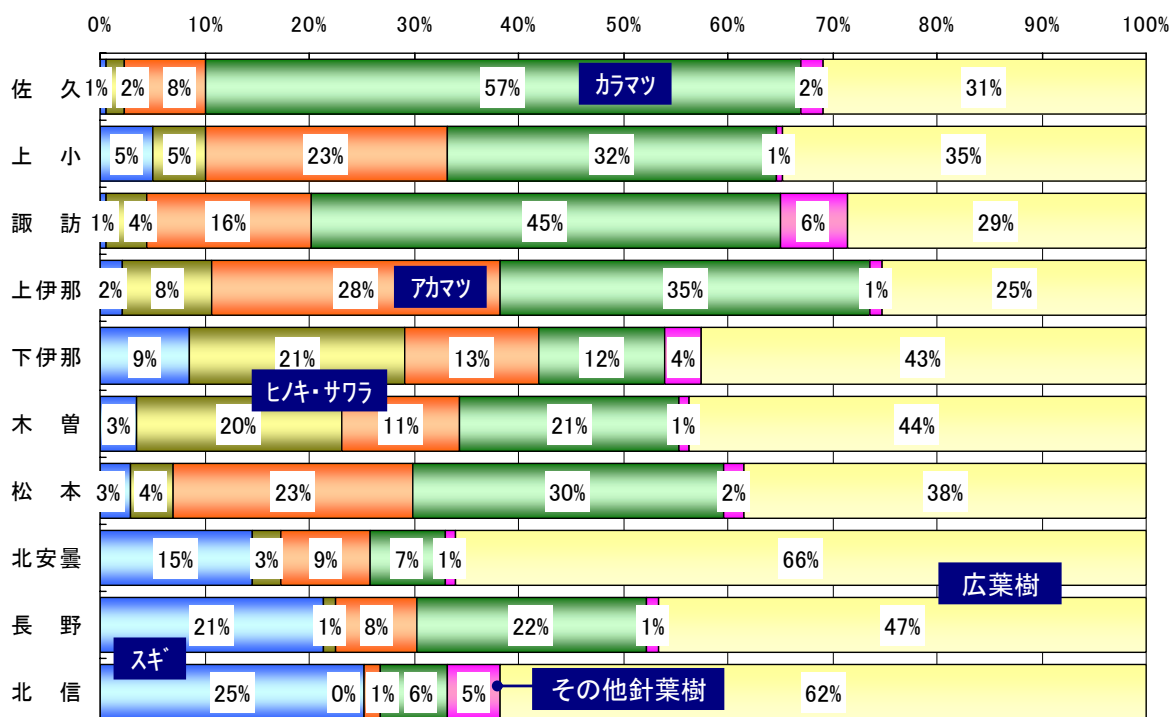
**県内5箇所モデル的に実施**

50万円/箇所 × 5箇所 = 250万円 【21年度予算額】

資料3(9ページ)

## 活用事業2-2

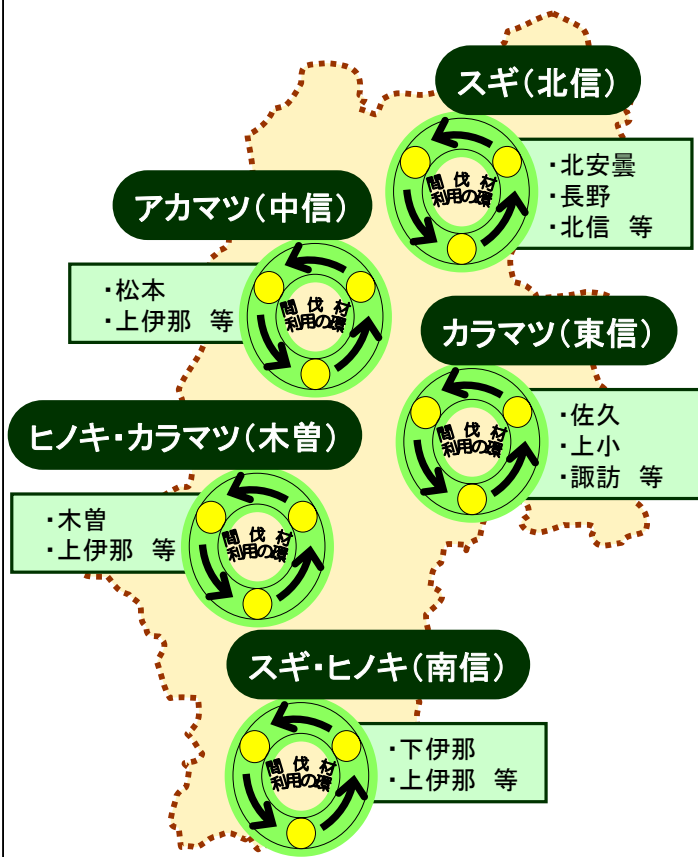
# 新 間伐材利用の環モデル事業



地域で異なる資源構成や生産供給体制

各地域の特性に応じた「仕組みづくり」

参考資料2(16ページ)



良質材は地域で加工し、  
高付加価値化した上で流通

中・低質材は土木用材等の  
地域利用を促進し、その他  
は適正な流通により県外合  
板工場へ流通

- ◎ 間伐材の利用促進による健全な森林の育成
- ◎ 間伐材の円滑な流通による地域林業・木材産業の活性化

資料3(9ページ)

林業再生プロジェクトと連動した取組みの展開

● 共通テーマ(県内一斉実施)

1 森林の団地化・施業の集約化

個人有林を団地化し、効率的な森林整備と間伐材の搬出を推進。地域で進める里山集約化事業等を通じて集落、森林組合等と連携して県内全域で実施

2 高度間伐技術者集団の育成

実践研修を通じて団地化、施業提案、低コスト搬出ができる地域のトップランナーを育成。高度間伐技術者集団育成事業等を通じて森林組合等でOJT研修を実施。

3 間伐材搬出システムの確立

地域に適合した搬出システムを構築し、低コスト化を推進。平成20年度は、機械化搬出システムと作業路について調査・研修会等を実施。

4 地域材加工体制の構築

地域の樹種構成や素材生産体制等を踏まえ、流域ごとに地域材加工拠点を整備。

● 重点テーマ(地域で課題解決)

路網整備や搬出する事業体の育成、地域材の加工体制整備等、地域特有の具体的なテーマに取り組む。



参考資料2(5ページ)

# 活用事業3

## 県民や企業の森林づくりへの参加促進



### 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業

#### 広報・普及啓発活動

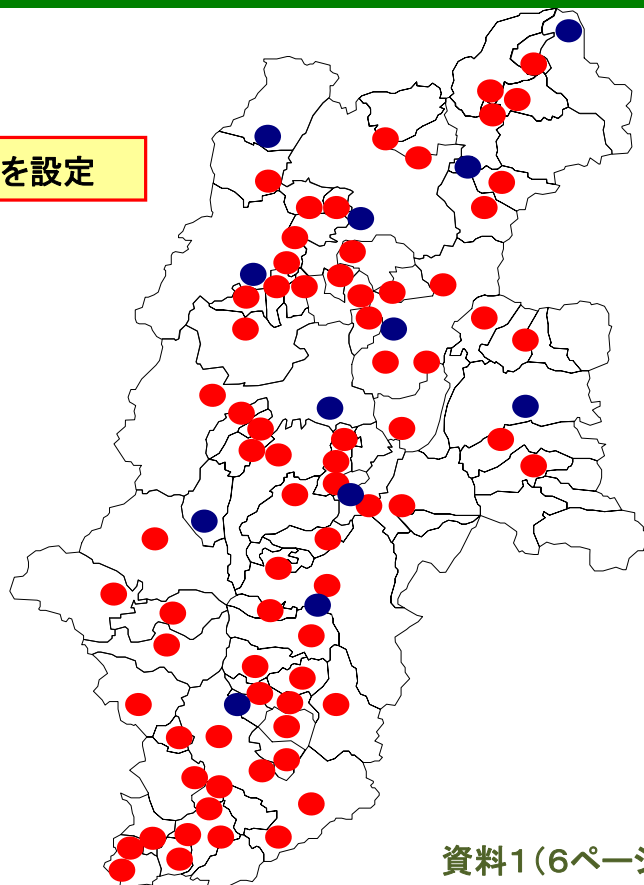


資料1(6ページ)

## 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業

### 里山整備モデル団地の設定

現在、70市町村、86団地を設定



資料1(6ページ)

## 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業

### 県民会議・地域会議の設置・開催



#### みんなで支える森林づくり地域会議 34回

学識経験	6名、市町村	11名
林業団体	17名、森林所有者	16名
経済団体	11名、消費者団体	6名
その他(NPO、女性グループ等)		18名
		計85名

#### みんなで支える森林づくり県民会議 3回

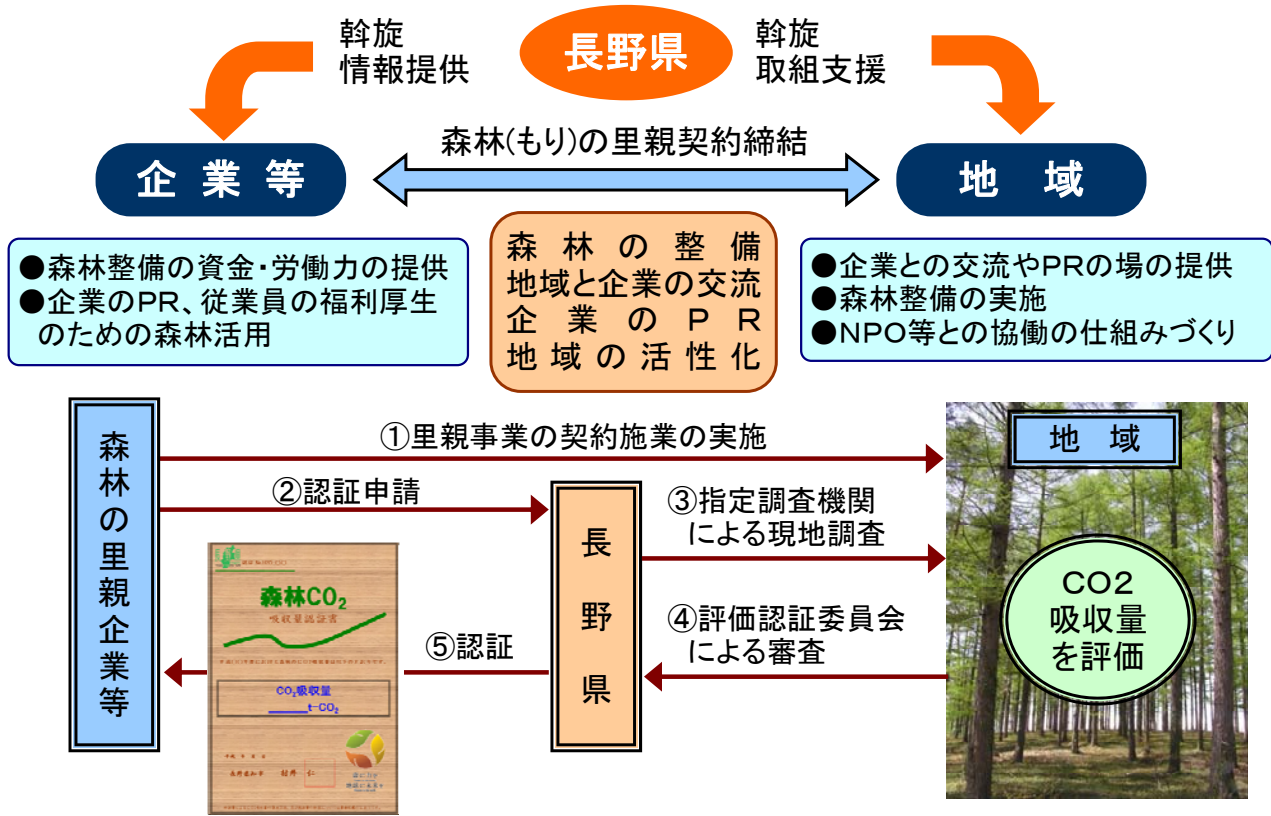
学識経験	3名、市町村	2名
林業団体	1名、経済団体	1名
消費者団体	1名、その他	2名
		計10名

合計 37回開催

資料1(7ページ)、資料2



# 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業



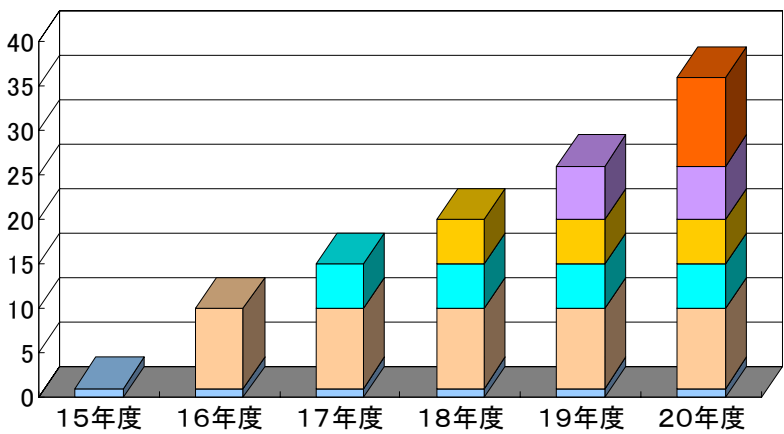
資料1(8, 9ページ)、参考資料2(6ページ)

# 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業

## 森林の里親促進事業



パンフレットを作成し、  
県内外のイベントで  
PR活動を展開



**【2月末現在】**  
 本年度契約実績 10件  
 累計 36件

資料1(8ページ)

# 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業



森に力を  
Power to the Forest.  
地球に未来を  
Future to the earth.

## 地球温暖化防止吸収源対策推進事業

4箇所で具体的な評価・認証を実施

### (株)セガ【南相木村】

カラマツ  
私有林  
間伐32.2ha



122.6 t-CO<sub>2</sub>

### アイシングループ【根羽村】

ヒノキ、スギ  
村有林等  
間伐37.5ha



234.7 t-CO<sub>2</sub>

### (株)八十二銀行【松本市】

サワラ、カラマツ、広葉樹  
県民の森(県有林)  
間伐 0.4ha



0.5 t-CO<sub>2</sub>

### 東海ゴム(株)【池田町】

広葉樹、アカマツ、カラマツ等  
集落有林等  
間伐 5.7ha



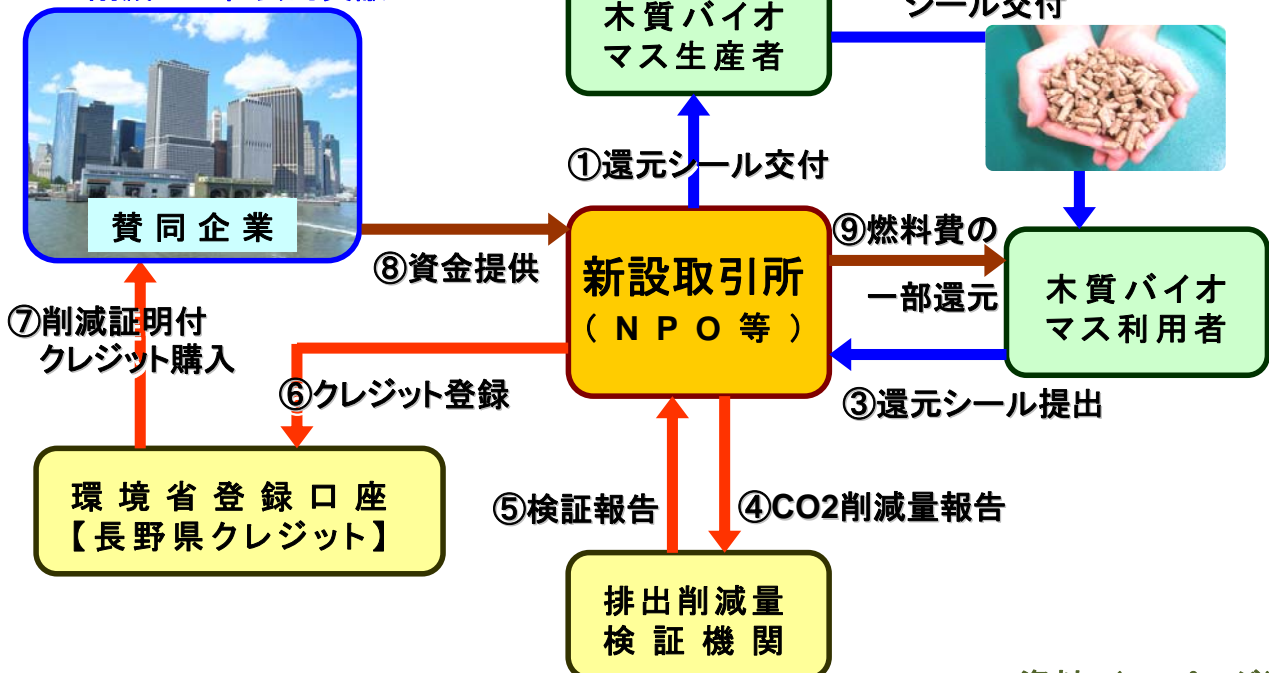
9.2 t-CO<sub>2</sub>

資料1(9ページ)

# 活用事業3-1 みんなで支える森林づくり推進事業

## カーボンオフセットシステム構築事業

CO<sub>2</sub>削減への社会的貢献



資料1(10ページ)

## 活用事業3-2 木育推進事業

### 地域活動支援／資材等譲与型

10件 265万円

#### 【事例1】飯田市 龍江小学校

資材提供した地域材(遠山スギ)により、保護者が木製体育器具庫を建設



#### 【事例2】須坂市 豊洲小学校

資材提供した県産カラマツ材により、児童や保護者が校舎内の壁へ設置



資料1(11ページ)、参考資料1(10、25ページ)

## 活用事業3-2 木育推進事業

### 地域活動支援／地域活動型

10件 250万円

#### 【事例1】岡谷市 ウッドブリッジ事業協同組合

地域産広葉樹材を活用した木工教室の開催



#### 【事例2】松本市 桐保育園

県産材による内装木質化、支障木を活用したベンチ等の制作、森林教室(紙芝居)



資料1(11ページ)、参考資料1(8ページ)

## 課題への対応3 県民の理解・参加の促進

### 県民会議や 各地域会議 での御意見

- 継続的・積極的にPRすることにより、県民の意識は高まる。
- 整備した森林を住民に見てもらい、必要性を理解していただくことが重要。
- 「木育」を推進する事業の拡充が必要。
- 間伐から製材・利用までの一連を見ることが効果的。 など

### 1. 広報・普及啓発活動の実施

#### 県域活動

- 「森林づくりレポート(実績報告)」の作成・配布
- ホームページや県の各種広報媒体の活用
- 市町村広報誌への記事掲載依頼
- 新聞、テレビ、ラジオ等マスメディアへの情報提供 など

#### 地域活動

- 間伐等森林整備地でのPR看板や横断幕等の設置
- 「森林づくり実感・体験ツアー」の開催
- 地域の寄り合い活動への参加や集落懇談会の開催
- 各種広報やイベント等を活用した広報・普及啓発活動 など

資料3(10ページ)

## 課題への対応3 県民の理解・参加の促進

### 2. 木育推進事業の拡充

#### 地域活動支援において『里山資源活用型』を新設

森林税活用事業で伐採された間伐材を活用した取組みへの支援を拡充



#### ① 間伐作業の説明や体験学習

##### 【活動場所】

森林税を活用して整備する里山

##### 【活動内容の例】

森林の役割や間伐の必要性等の学習や、間伐作業体験等を実施



#### ② 素材生産の説明や体験学習

##### 【活動場所】

間伐材搬出現場や木材市場等

##### 【活動内容の例】

間伐材の搬出作業や、高性能林業機械の学習、木材市場の仕組みの学習等を実施



資料3(14ページ)



### ③ 製材加工作業の説明や体験学習

**【活動場所】**

地域の製材工場等

**【活動内容の例】**

製材加工や木材乾燥等の学習、木材の品質・強度検査等の体験等を実施



### ④ 木材利用の説明や体験学習

**【活動場所】**

小中学校や公共施設等

**【活動内容の例】**

木製机や椅子の組み立て、内装の木質化作業の体験等を協働で実施



### ⑤ 総合的な学習・活動のまとめ

**【活動場所】**

小中学校や集会施設等

**【活動内容の例】**

森林・林業・木材産業等に関する総合的な学習や、木育活動記録の作成等を実施



資料3(14ページ)

## 活用事業3 みんなで支える森林づくり推進事業等

事業名	平成20年度 当初予算①	平成21年度 当初予算②	前年度比 (②/①)
みんなで支える森林づくり推進事業	21,529千円	12,873千円	59.8%
広報・普及啓発費	15,510千円	8,610千円	55.5%
県民会議・地域会議開催費	6,019千円	4,263千円	70.8%
森林の里親促進事業	800千円	1,230千円	153.8%
地球温暖化防止吸収源対策推進事業	450千円	480千円	106.7%
カーボンオフセットシステム構築事業	1,427千円	1,670千円	117.0%
木育推進事業	7,000千円	9,500千円	135.7%
活用事業3 合計	31,206千円	25,753千円	82.5%

資料3(1ページ)

# 平成21年度 みんなで支える森林づくり事業

## ポイント

- ◆ 間伐面積を倍増するとともに、集約化事業を拡充
- ◆ 市町村への推進支援金を拡充するとともに、新たに間伐材の利用を進めるためのモデル事業を実施
- ◆ 税活用事業で伐採された間伐材を活用した木育活動への支援を拡充

事業名	平成20年度当初予算①	平成21年度当初予算②	前年度比(②/①)
活用事業1【里山での間伐の推進】	439,853千円	851,850千円	193.7%
活用事業2【地域課題への対応】	100,000千円	132,500千円	132.5%
活用事業3【県民の参加等の促進】	31,206千円	25,753千円	82.5%
森林税活用事業(林務部事業)計	571,059千円	1,010,103千円	176.9%
森林づくり県民税基金 積立額	500,570千円	672,876千円	134.4%

資料3(1ページ)

## 県民会議 21年度開催計画

### 第1回

平成21年5～6月頃  
【20年度事業の評価等を実施】

### 第2回

平成21年10～11月頃  
【事業実施報告と現地調査を実施】

### 第3回

平成22年2～3月頃  
【22年度計画の検討等を実施】